

広島県中小企業団体中央会 2016年2月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

2月の出荷量は前月比1.7%減少、前年同月比1.0%増加、売上高は前月比1.1%減少、前年同月比2.7%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成28年1月の全国の住宅着工戸数は67,815戸で、前年同月比では0.2%増加、また、季節調整済年率換算値では87.3万戸（前月比1.5%増加）となった。利用関係別では、持家は20,264戸で前年同月比0.1%減少、貸家は28,288戸で前年同月比5.3%増加、分譲住宅は18,903戸で前年同月比5.7%減少となった。なお、木造住宅の着工数は37,516戸で、前年同月比3.6%増加となった。

住宅着工の動向は、一昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の影響から持ち直しの傾向が続いて来たものの、足下では横ばいの動きとなっており、引き続き、今後の動向を注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の着工戸数は1,260戸で前年同月比8.6%の増加となった。このうち、持家は384戸で前年同月比12.9%の増加、貸家は628戸で前年同月比11.2%の増加、分譲は248戸で前年同月比2.7%の減少となった。地域別では、広島市は着工戸数650戸で6.0%増加、東広島市は着工戸数122戸で32.6%増加、呉市は着工戸数58戸で31.8%増加となる一方、福山市は着工戸数211戸で20.7%減少となるなど、地域間でばらつきがあり、会員の一部からは、昨年末に景気がやや回復傾向にあったが、十分に経済対策が行き渡ったとは言えず、経営状況は依然厳しいとの声が多く、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

例年通りであれば、春先から忙しくなる見通しである。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

景況感に変化はない。広島市で1社廃業した。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

株高、円安の状況にもかかわらず、国内の景況感の改善は感じられない。特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対して部品メーカーは国内生産台数減、プライスダウン要請、ベースアップを含む労務費の上昇に加えて労働人口の減少が加わり大変厳しい状況にある。円安になって久しいが、その効果には疑問を感じている。明らかに1ドル120円は行き過ぎではないか。さらなる円安を招くと景気低迷の中、来年の消費税率引き上げが行われると、物価上昇を招き、中小企業を中心に経営がさらに苦しくなる。また、海外においても中国株の下落や原油価格の不安定さなど不安要素が多々あり、今後の先行きは誠に不透明である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は全体的に各社微増の傾向にある。自動車関連企業は、2月～3月は増加傾向にある。

円安の傾向及び原油安に伴うガソリン・重油等の価格安の傾向は、収益の面で良い傾向にある。しかし、それに伴うコストダウン要請や春の賃金アップ等を考慮すると、経営環境は先行きが見えず、厳しい状況にある。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年2月 3,418m³ (対前年15.8%増加)

28年1月 2,517m³

27年2月 2,953m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

例年、受注が期待出来ていた時期に引き合いが少なく、反対に急な受注がスポットで、かつ短納期であることがあり、先行きの見通しが不透明である。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、大型の受注が減少したため、前月比10%減少、前年同月比5%減少となった。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、航空機、ボーイング社尾翼部分の組立て範囲の拡大に伴い、高操業となっている。それに伴い、航空機関連に携わる協力会社各社は高操業の状況にある。

電気機器

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、少し生産が停滞気味であり、前月比、前年同月比変化なしとなった。輸出物件も停滞傾向にあり、国内もスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

最低賃金を1,000円にとの議論がなされているが、実現されると電機業界の2次下請けは倒産してしまう。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。人材派遣会社の規制が必要だと思う。人材確保の課題が鮮明である。賃金の問題は深刻である。

輸送用機器

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

2月の国内自動車販売台数は全需が451千台、前年同月比6.4%減少と14ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比4.6%減少と2ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は9.1%減少と14ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車は12.9%減少と5ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの1月の全需は1,148千台で前年同月比0.3%減少と5ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も同2.8%減少と5ヶ月振りの前年割れとなった。

欧州の1月の全需は1,193千台で、前年同月比2.3%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。マツダ車は同27.9%増加と8ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の1月の全需は2,462千台で、前年同月比6.1%増加。マツダ車も5.7%増加と12ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の1月の海外販売合計台数は110千台、前年同月比12.2%増加で31ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの1月の輸出動向については、輸出台数は、前年比4.8%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの1月の国内生産台数は、前年同月比7.3%増加と8ヶ月連続の前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年1月の船舶建造許可実績は2隻67,900総トン（前月6隻270,550総トン、前年同月4隻148,500総トン）であった。なお、2隻とも貨物船で全て輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

材料費の高騰により、収益性が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

リビング、ダイニングは堅調に推移している。デスクに関しては、2月の販売ピーク時に苦戦しており、通期で前年割れが予想される。ベッドは好調であったが、1月下旬より横ばいとなっている。年度末に向け、ホテル関連の受注が好調である。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

2月の金融市場は、日銀のマイナス金利発表他、円高、株価の乱降下等落ち着きのない展開となった。金融商品の金利引き下げや原油安は、中小企業者にとっては好材料だが、個人消費の低迷が景況感を悪化させている。

「資材関連」においては、年度末にさしかかり、公共工事・住宅ともに増加傾向にある。電力自由化開始や省エネ関連の助成制度が開始される予定で、需要増加が期待される。

「食品」においては、2月の売上は、前年同月比横ばい。

「繊維」においては、2月は冬らしい天候となり、冬物販売はやや持ち直した。為替予約をしている輸入業者は、急激な円高により、採算の悪化が懸念されている。

「雑貨」においては、生活雑貨についてはやや低調で、寒くはなったが、カイロやマスク等冬物商品が苦戦した。近年、中小零細企業の同業者が廃業している。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

平成27年度補正予算において、中小企業等省エネ・生産性革命投資促進事業（442億円）が予算措置されている。我々業界ではLED照明器具と省エネ空調機器の更新提案活動に努めていく。また、本年度も引き続き補助金・税制優遇等を活用した提案活動に注力していく必要がある。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

2月に入り、消費地の受注量が回復傾向にあり、総じて前月を上回る商品の動きを見せている。主に中国産JASが堅調に伸びている状況である。

一方、国産表の相場は横ばいで、生産もゆるやかで、受注もゆっくりの状態である。今後は住宅資金が低利なことから、需要にどの程度影響があるのか期待している。国産も中国産も価格は横ばいで推移している。

小売業

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

今月は、前月、前年より売上が増加した。昨年より得意先が増加したことと、1月の大寒頃に大雪(特に九州方面)が降ったことで、それまでの暖冬(野菜の豊作による相場安)から状況が一変し、相場高(野菜の入荷が減少)となり、全般的に売上は好調に推移した。また、今年はどういう年で、営業日数が1日多いことも好要因であった。

一方、今年のパレンタインデーは、日曜日となったため、「義理チョコ」の売上が減少し、近年では最低の売上となった。

2月の節分の特売チラシの裏面に塗り絵等を掲載し、持参された子供にお菓子のプレゼントを企画したところ、近隣の対象児童の約8割から反響があった。今後も3月のひなまつり、5月の母の日など、様々な企画を実施予定である。

協同組合三次ショッピングセンター

三次市のプレミアム付商品券が2月末で利用終了となる。1月下旬に競合店のスーパーがリニューアルしたが、現在影響は感じておらず、2月の売上は増加した。飲食店テナントのオーナー死去に伴い、2月中旬、1店舗廃業し、空き店舗が増加した。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

2月度の販売実績は前年同月比0.3%増加となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比1.2%増加、BDレコーダー21.9%減少、音響・車載機器同1.6%減少、冷蔵庫同10.2%増加、洗濯機同3.4%減少、エアコン同0.1%増加、エコキュート同5.3%減少、IHクッキングヒーター同2.7%増加となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

季節的な要因もあって、売上は全般的にやや低調に推移しており、商店街全体の景況感も小売店を中心に、先行き横ばい又はやや悪い見通しである。

2月中旬に飲食店（高級割烹）が1店廃業し、空き店舗となった。

国道沿いの閉店後の自社ビルが業者に売却され、今後マンションの建設が予定されている。広島地区では、マンションの建設や、郊外地区で工場の設備更新が増加している。しかし、若年労働者の不足や労務費の上昇等により、作業人員の確保、利益率の低下、工事の進捗がタイトになっていることが大きな課題である。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比45.2%増加、前年同月比2.6%増加。車検場収入は前月比42.6%増加、前年同

月比3.9%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比22.9%増加、前年同月比14.2%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

全体的に人手不足が見られる。早朝、深夜勤務等の正社員の確保が難しい。収益は、人件費の割合が高くなると悪化してくる。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

2月における工事受注件数は、前月比28.8%増加、前年同月比7%減少となった。

現状の電気料金プランでの希望者による駆け込み申請により、今年度初めて電気使用申込件数が500件を超えた。電化住宅への新築・リフォームもオール電化割引が3月末までということもあり、増加した。また、太陽光発電申請においては、余剰買い取りが2月は増加した。

広島県室内装飾事業協同組合

2月の売上については、前月比83%増加、前年同月比1%増加となった。

前月比で見るとカーテン工事が86%増加、敷物工事は4%増加、壁装工事は87%増加とカーテン工事と壁装工事は大幅な増加となった。

前年同月比では、カーテン工事は13%減少、壁装工事は43%減少したが、敷物工事は23%増加となった。

工事物件については、前年累計で4%増加と微増であるが、カーテン工事、敷物工事、壁装工事共に増加した。内装工事全体では前月比、前年同月比、前年累計共に増加であるが、依然企業間格差は大きい。現状、内装業界全般に人手不足の状態である。

神辺建設業協同組合

年度末を迎え、公共案件の発注が繰越案件を除きほぼ止まっているため、中小零細各社は民間需要を積極的に受注する傾向となっている。

運輸業

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

2月の荷動きは、鋼材・コンクリート関連は堅調に推移した。飲食関連は伸び悩み、全体的には前年同月比減少となったようである。要因としては、国内では、ここ数年のドライバー不足により、陸上輸送からモーダルシフト（トラック輸送から、鉄道 または海運に転換すること）の拡大が影響しているのではないかと。

軽油価格は、中東情勢の影響もあり、原油価格の下落は続いている。2月半ばには2円程度上がったこともあったが、月間を通してみるとマイナス3円程度での推移となった。

松永地区トラック事業協同組合

年度末が近づいてきたため、2月から3月にかけて公共事業及び建設関連の輸送については毎年のことながら、増加傾向にある。それ以外の業種は特に変化はなく、好況感はない。

ドライバー不足の状況は改善の兆しすら見えず、以前であれば60歳定年後、賃金を下げて再雇用していたが、現在では本人の申し出がない限り、継続雇用している。

軽油価格は現在、緩やかに下降傾向であるため収益に寄与しているが、運賃が上がっていないため、経営的には厳しい状況が続いている。

広島輸送ターミナル協同組合

燃料価格が値下がりし、収益は改善している。期末を迎え、車両不足、ドライバー不足の状

況が続く見込みである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比ともに特に変化はない。

不動産市場はやや弱含みで推移している。